

? 小学校の教員免許状もとれますか

「小学校の免許に挑戦することはできないのでしょうか。」
毎年何人かに質問を受ける。

また、以前開設の「教育原理」の授業では、導入を行う取得希望免許状調査で、希望が比較的多かったものに、小学校の教員免許状がある。

違った毛色の学生や他業種を経験した社会人が、小学校の現場に入っていくこともまた有意義なことだと考える。

卒業（学士取得）後に通信教育（科目等履修）などがオンラインドックスな方法であるが、実は、このほかに裏ワザともいうべきものがあり、うまくいけば、在学中にとれて、四年の時に採用試験を受けることのできる方法がある。それが、「教員資格認定試験」である。

? 「教員資格認定試験」って何ですか

試験の種類は、小学校教員だけではなく、高等学校教員（看護、柔道、剣道、建築、インテリア、デザイン、計算実務）や特殊教育

教員免許状取得の裏ワザ

—小学校の教壇も夢ではない—



池野 正晴 (いけの まさはる)

経済学部教授。東北大学大学院教育学研究科博士前期課程(教育哲学・教育史専攻)修了。専門分野は教育人間学及び学校教育学、授業論。国公立学校教員を経て、90年より高崎経済大学経済学部講師、助教授、そして教授。現在、経済学科長。小・中学校の現場で授業をしたり、海外での学校・授業視察で出かけたりもする。趣味はテニス（下手の愛好き）と海外旅行。

教員もあり、受験資格は種類によって違う。

小学校教員の場合は、「大学に二年以上在学し、かつ62単位以上を修得した者」や「高等学校を卒業した者で、満20歳（試験を行う年度の四月一日現在で）以上の者」などということになっている。

認定試験は、文科省の委嘱した大学（横浜国大、静岡大、岡山大学、宮城教育大）で毎年秋に行われ、三次試験まである。一次、二次の試験科目は筆記試験（一般教養科目、教職科目）、口述試験、実技試験（音楽、図工、体育から二教科）。三次試験は、指導の実践に関する事項に係わる試験（実技試験等）となっている。一次、二次が難関で、三次は、どちらかと言えば、附属学校での研修のようである。

? 裏ワザでどんな免許状がとれますか

授与されるのは、いずれも普通免許状で、小学校では小学校教員一種免許状、高等学校では高等学校教諭一種免許状、盲・聾・養護学校では養護訓練教諭一種免許状が取得可能となっている。

「大学二年以上の在学＆62単位以

上の修得」をしていれば、一次の一般教養に関する科目は免除ともなっている。また、前回一次合格者や他の免許取得後の場合は、さらに免除のものが増えるようになっていく。

? 四年の段階で採用試験も受けられますか

大学三年終了時点までに合格すれば、免許状を申請し、四年生で、小学校教員の採用試験が受けられることとなる。小学校教師への夢も可能である。

しかも、県によっては、小学校と中学校の交流が盛んで、両方の免許取得を勧められるところもある。中学校での就職をめざす人にとっても、一考の価値あり。卒業生の中にも、実際に裏ワザで取得し小学校の現場で活躍の人もいる。

詳しく知りたい人は、文科省のホームページ（<http://www.mext.go.jp>）や『小学校教員資格認定試験』（一ツ橋書店）などを参照するとよい。

正規に取れる中、高の免許状にプラスするつもりでいかがですか。